

## 令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立第三商業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成  
副校長、主幹教諭（総務担当主任）＝事務局長、主幹教諭（教務主任兼務）、経営企画室長  
計4名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務、教務部総務担当、生活指導、2学年)、  
主任教諭（進路指導、1学年、3学年） 計10名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
保護司、近隣中学校長、近隣保育園長、近隣警察署生活安全課スクールサポーター、  
近隣町会副会長、近隣都産業連盟事務局長、近隣企業部次長、同窓会理事（事務局長）  
PTA会長 計9名

### 2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年5月31日（火曜）内部委員10名、協議委員7名
    - ・協議委員委嘱及び委員紹介
    - ・令和3年度学校経営報告
    - ・令和4年度学校経営計画
    - ・各校務分掌・学年からの報告
    - ・意見交換・協議本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和4年11月29日（火曜）内部委員9名、協議委員6名
    - ・本校の現状と取り組み
    - ・学校評価アンケートについて
    - ・意見交換・協議
  - 第3回 令和5年2月3日（金曜）内部委員7名、協議委員8名
    - ・今年度の取り組みの総括
    - ・学校評価アンケートのお願い
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年5月31日（火曜）内部委員10名、協議委員7名
    - ・意見交換
  - 第2回 令和4年11月29日（火曜）内部委員10名、協議委員6名
    - ・今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討
    - ・意見交換
  - 第3回 令和5年2月3日（金曜）内部委員7名、協議委員8名
    - ・意見交換

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 評価の観点
  - ① 教育活動全般：学校生活満足度、生徒の様子、生活の重点、学習と部活動・行事との両立、資格取得、施設・設備、地域との連携等
  - ② 学習指導：習熟度別授業、少人数制授業、補習・補講、授業評価、将来への活用、学習時間等
  - ③ 生活指導：規律ある学校生活、遅刻・頭髪指導、社会のルールやマナー、安全や健康管理の指導等
  - ④ 進路指導：進路情報の提供、個別面談、進路相談、進路指導室の充実等
  - ⑤ 図書館利用度、読書活動
  - ⑥ 働き方改革、いじめ未然防止、早期発見・解決
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・ 1 1 月 全校生徒	対象： 5 1 1 人	回収： 3 7 8 人	回収率： 7 4. 0 % ( 7 6. 9 %)
・ 1 2 月 保護者全員	対象： 5 1 1 人	回収： 1 6 2 人	回収率： 3 1. 7 % ( 3 1. 2 %)
・ 2 月 地域・住民	対象： 9 人	回収： 9 人	回収率： 1 0 0 % ( 6 6. 7 %)
・ 1 2 月 教職員	対象： 4 5 人	回収： 3 1 人	回収率： 6 8. 9 % ( 1 0 0 %)

### (3) 主な評価項目

- ① 本校の教育活動全般
- ② 学習指導
- ③ 生活指導
- ④ 進路活動
- ⑤ 読書活動
- ⑥ 働き方改革・いじめ問題

### (4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容)

アンケートの回収率については、生徒は74.0% (昨年76.9%) である。アンケート実施日の生徒の出席状況がそのままの数字となっており、新型コロナウイルス感染症禍において昨年度を下回った。今後とも回収率を上げていく必要がある。保護者の回収率は昨年を若干上回ったが、これも新型コロナウイルス感染症対策の下、保護者の方々のとの連携の難しさがあった。今年度は昨年度とは大幅な内容変更はしていない。良否・前進後退の判断、原因の分析を行う。

- ① 76.4% (75.2%) の生徒が、「入学してよかった」と思っている。昨年より1%以上増加した。学年にかかわらず上昇しており、新型コロナウイルス感染症対策における学校内での活動制限があつたにもかかわらず、修学旅行を2学年・3学年とも実施できたことや体育祭の実現と文化祭の実現が大きい。教職員の指導の賜物と思われる。保護者は90.7% (89.9%)、教員は64.5% (63.6%) と少し生徒との意識の乖離がみられる。保護者は各学年とも90%を超えており、保護者は満足してくれているようである。入学してよかったという理由として高い評価を得るために様々な資格取得も含め、実学としての教育、授業力向上、きめ細かい指導、生活指導面、進路指導面で充実させていかなければならない。
- ② 学習指導については生徒の満足度がどの項目も10%程度上昇しており、今後も維持していくように指導を積み重ねていき、生徒の興味関心を引き出し、学習する意欲を喚起するような授業力を身に着け、主体的・対話的で深い学びにつなげていかなければならない。保護者はどの学年でも70%前後となっているが、成績不振者に対する補習体制についての数値が低い現状が浮き彫りとなった。また教員は多くの項目で70%前後であり、生徒との意識差の隔たりは減少傾向となった。
- ③ 自宅での学習時間についてはほとんど勉強していない状況である。昨年度よりも減少傾向であるが、「1時間未満」の生徒が90.8% (96.3%) を占める。その中でも「30分未満」が圧倒的に多い。これは全学年での傾向がある。つまり91% (ほぼ全員) の生徒に家庭学習の習慣が身につけておらず、適切な課題を与えるなど生徒に学習意欲を持たせる工夫が必要である。
- ④ 「進路を考えるには規律ある学校生活が必要」という問いに、生徒の97.6% (74.6%) がそう思う・大体そう思うと回答している。同じ問いに、保護者の95.6% (95.1%)、教員の90.3% (93.1%) がそう思う・大体そう思うと回答しており、生徒や保護者は学校生活での規律は確実に必要であると考えている。反面教職員が保護者より低い数字になったことは課題である。

本校の生活指導の根幹をなす、社会のルールを守るための適切な指導が行われている。遅刻や頭髪指導等のマナー教育に関する問いに対して生徒は肯定的であり80%以上が肯定している。保護者は生活指導の大切さと指導について、肯定が90%を超える。生活指導において、社会においてルールを守る事が当然であるという理解が生徒に得られていると考えられるが、それに対してやや反発する姿勢もこのアンケートで見受けられるなか、教職員が64.5%と、一番低い数字となったことは生活指導に対して校内では改善の余地があることを示している。引き続き、ルール・マナーの重要性を理解させるとともに定着するよう指導を進める必要がある。

- ⑤ 進路指導については、生徒の満足度が約80%で、保護者は約80%である。教員も80%以上が満足となっている。しかし進路資料室などの利用については半数以上の生徒が活用していない。1・2年生から進路について興味を持ち取り組んでいける環境を作っていきたい。また、進路全般の情報を発信し、生徒、保護者の要望は何かをとらえていく必要がある。

- ⑥ 読書活動について、生徒の読書は昨年度より上昇して約3分の1である。図書館もあまり利用していないようである。未読率の減少、読書の推進を図る手立ての検討を継続していきたい。
- ⑦ 教職員の働き方改革への取組については、マスコミ等の効果もあり生徒の47.8%に認知されてきた。保護者も62.1%（16%）は知っている状況である。教職員は知っており、74.2%（61%）は取り組んでいる。
- ⑧ いじめの未然防止や、対策について生徒の約3分の2が学校の対応に昨年度は不満を持っていたが、今年度は73.9%（75%）の生徒がほぼ満足しているという結果になった。これは教職員の日々のきめ細かな対応による結果である。さらなる向上を目指したい。教員は83.9%（89%）が取り組んでいるという回答であった。今後も全教員で生徒の様子を見守っていく。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

##### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

令和4年度は、5月、11月、2月と対面式での学校運営連絡協議会を開催し、協議委員と会合することで、学校の教育活動の取り組みの成果が伝わりやすく、教員の日頃の学習指導、生活指導、進路指導の現状と成果を伝えることができた。次年度も対面式で開催する。

##### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

本校の教育活動をホームページ等で発信しているが、地域の住民に日頃から地域の祭りや地域行事での生徒のボランティア活動などより一層PRして、支援、協力を促していくこと。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

##### (1) 学校教育活動全般

生徒の自己実現のために、全教職員で生徒への進路指導を改善・充実化し、生徒の進路実現100%を目指して、校長の学校経営計画の実現に咲良に努める。

##### (2) 学習指導

生徒の学力定着のため、生徒の実態や理解度を把握しながら、指導方法の改善、適正な進度維持の調整等、学習指導法の改善や教材開発を行い、生徒の学力向上に努める。

##### (3) 生活指導

身だしなみやマナー、自転車の乗り方、遅刻・頭髪指導等を生徒および保護者に周知し、組織的なきめ細かな指導により、基本的生活習慣を身に付ける。

##### (4) 進路指導

3年間を見通した進路指導計画を改善・充実させ、上級学年や卒業生が講師になって指導する。生徒や保護者に進路情報を計画的に発信し、きめ細かい組織的な指導を行い、生徒の進路希望を実現する。

##### (5) 特別活動

部活動の加入率を向上させるため、全生徒に部活動に加入するように次年度も推進する。日常的な顧問の指導のもと、指導体制や内容、補習との関係を明確にし、年間指導計画に基づく計画的・継続的な指導により、部活動の活性化を図る。

##### (6) 健康・安全教育

道徳教育、主権者教育、ボランティア活動、インターンシップを実施し、生徒の自尊感情、自己肯定感を高める教育の工夫を図る。また、自殺防止の観点やいじめ防止の観点から十分な指導をしていく。

自転車通学での事故防止や、乗り方のマナーの指導の徹底を図るために、江東区のスタントマンを活用した交通安全指導を実施する。

防災教育、情報モラル教育、薬物乱用防止教室やSNS・携帯教室等のセーフティ教室、健康教室を実施する。

#### 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

##### (1) 協議委員人数 9人

##### (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数 9人

そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答
5	4	0	0	0

- 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果  
職員会議、企画調整会議に、協議委員は出席していない。
- 8 その他  
今年度は対面形式で学校運営連絡協議会を3回実施でき好評を得た。(昨年は3回とも書面開催)